

令和7年度 平野区区政会議（12月）全体会 会議録

1 開催日時

令和7年12月2日（火） 19時00分～20時56分

2 開催場所

コミュニティプラザ平野（平野区民センター）大ホール

3 出席者

（区政会議委員）23名

東委員、石本委員、井上委員、川下委員、川脇委員、北口委員

斎藤委員、佐藤委員、篠原委員、徐委員、鈴木委員、

十九川委員、仲谷委員、根橋委員、農野委員、濱田委員、速水委員、

福島委員、藤井委員、前村委員、明浄委員、森下委員、四辻委員

（平野区選出市会議員）2名

永井議員、永田議員

（平野区役所職員）22名

東中区長、安井副区長、立本安全安心まちづくり課長、

京極まちづくり推進担当課長、塩野企画調整担当課長、松本総務課長、

木村安全安心まちづくり課長代理、植山防災企画担当課長代理、

森本まちづくり推進担当課長代理、西田保健福祉課長、小林地域保健担当課長、

中西生活支援課長、小山保健福祉課長代理、保坂地域担当課長代理、

川島保健副主幹、齊藤保健副主幹、丸山子育て支援担当課長、

中井政策推進課長兼教育担当課長、星野政策推進課長代理、

尾崎こども家庭担当課長代理、上窪こども見守り担当課長代理

松元総務課担当係長

4 議題

(1) 平野区将来ビジョン2026—2029（案）について

(2) 令和8年度 平野区運営方針の策定に向けて

5 会議内容

○司会（高塩政策推進課担当係長）

皆さん、こんばんは。

それでは、ただいまより令和7年度平野区区政会議12月全体会を開催いたします。

本日は、お忙しい中ご出席を賜りまして、誠にありがとうございます。

私は司会を務めさせていただく平野区役所政策推進課の高塩でございます。どうぞよろしくお願ひいたします。

それでは、開会に当たりまして、区長の東中よりご挨拶申しあげます。

○東中区長

改めまして、区長の東中でございます。

皆様、お忙しい中、寒い中、お集まりを賜りまして誠にありがとうございます。

また、当区ご選出の議員先生におかれましても、オブザーバーご出席賜りまして本当にありがとうございます。

重ね重ね、各地域の皆様方、また青指さん、PTAさん、民生委員さん、社協さん、そして地活さん等々、それぞれのいろいろなご活動のお立場、地域のお立場から、また学識の方も含めまして、本当に皆様お越しを賜りまして誠にありがとうございます。

今年はご承知のように万博、いろいろな話題もございましたけれども、おかげさまで何とか皆様方の思いを寄せていただくことで、万博のひとまずの成功という形を見

ることができました。本当にありがとうございます。

またこの間も区民まつり、また各地域でもいろいろな行事、ご活動、また各団体さんでもいろいろなご活動を重ねていただいております。平野区の力というのは、皆様方のそうしたいろいろな取組の力、つながりの力、そのものであると存じます。重ねて感謝を申しあげます。

本日は次の4年のビジョンということで、任期が、この委員さんが、おかげさまで新しい方も加わっていただきました。また継続してやっていただいている方もおられます。新しく初めての顔合わせの場でもございますけれども、前回の任期の皆様方の中でいただいたご意見も踏まえながら、私どもなりに次のビジョンに向けて工夫をさせていただきました。

この地域共生というのは、なかなか新しいこと、とっぴなことというのは非常に難しいという側面がございます。つまり、やはり生活、地域、お仕事、また人生、福祉、教育に密着した私どもの取組でございますので、継続性とか連続性といったところは、これは区の行政としては踏まえて進めさせていただきなければいけない、そういう使命があると存じます。

とはいって、では昨日のごとく、1年前のごとく、100年前のごとく一緒にいいのかというと、決してそういうわけではございません。時代の変化に応じてしっかりと皆様に寄り添わせていただく取組を、やはり新しくするべきは新しくして、変わらないといけないと存じます。

こうした工夫を加えていくに際しまして、この区政会議、区政に皆様方の、またオブザーバーでいらっしゃる議員先生におかれましても、皆様方の日頃からのライブなご意見、ライブなお声を頂戴するということが何よりも大事なことでございます。

私どもとしても、こうした皆様方からいただくお考え、ご意見を伺って、そしてちょっとでもいいものにしていこうと。1年、10年と積み重ねますと、また一層よくなるに違いない、平野に住んでよかったねと皆様方が笑い合っていただけるよう

な、そうした地域で一層あり続けられますように、私ども行政も力を尽くしてまいります。

どうか地域からお越しの区政会議委員の皆様におかれましても、何とぞお力添えを賜りますよう、冒頭お願いを申しあげたく存じます。

本当に皆様、お忙しいところありがとうございます。

本日どうぞよろしくお願い申しあげます。

○司会（高塩政策推進課担当係長）

続きまして、本日ご出席の皆様と関係者の紹介でございますが、お配りしております【資料6】A3両面の平野区区政会議委員及び関係者名簿をご覧ください。

表面が名簿、裏面が座席表となっております。委員の皆様及び区役所職員の紹介につきましては、大変恐縮ですが時間の都合もあり、こちらの名簿をもちまして紹介とさせていただきます。

続きまして、本日オブザーバーとしてご出席いただいている市会議員の方々をご紹介させていただきます。

永井広幸議員でございます。

○永井議員

よろしくお願いします。

○司会（高塩政策推進課担当係長）

永田典子議員でございます。

○永田議員

皆さん、こんばんは。よろしくお願いいたします。

○司会（高塙政策推進課担当係長）

続きまして、傍聴者などのご報告です。

本日の傍聴につきましては、1名でございます。

それでは次に、本日使用する資料の確認をさせていただきます。

資料右上に番号を付けております。事前に送付した資料として、【資料1】から【資料5】、当日の配付資料として、【資料6】から【資料10】がございます。

なお、事前に送付させていただいている【資料5】について、一部修正をさせていただきましたので、本日お配りしているものと差し替えをお願いします。

資料の不足や事前送付資料を本日持参されていない方は、お手数ですが挙手にてお近くの事務局職員までお声がけいただけますようお願いいたします。

それでは、ここで本日のタイムスケジュールについて、簡単にご説明させていただきます。

まず、次第のとおり、議長・副議長の選任を行います。次に、区役所から【資料2】から【資料5】を用いて、今回の議題であります平野区将来ビジョン2026－2029（案）、及び令和8年度平野区運営方針の策定に向けてを約15分程度でご説明させていただきます。

それが終わりましたら、各グループに分かれて意見交換を行っていただきます。小グループの意見交換は、移動・休憩も含めて65分程度を予定しております。

その後、再び今のお席に戻っていただき、全体会を再開します。

この場では各グループで出されたご意見の報告などをさせていただきます。

終了は21時を予定しておりますので、円滑な進行にご協力のほど、よろしくお願ひいたします。

それでは、次第に沿いまして、まずは議長・副議長の選任でございます。

区政会議の運営の基本となる事項に関する条例第7条では、「議長は、区政会議を

主宰する。副議長は、議長を補佐し、議長が欠けたとき又は議長に事故があるときは、区政会議を主宰する。」こととなっております。また、この条例では、委員の皆様の互選により、議長並びに副議長を選任することとなっております。

議長並びに副議長について、どなたか立候補や推薦はございますか。

四辻委員、お願ひいたします。

○四辻委員

引き続き、農野委員様にお願いできたらと思います。よろしくお願ひいたします。

○司会（高塙政策推進課担当係長）

農野委員を推薦していただきましたが、よろしければ拍手をお願いいたします。

（拍手）

○司会（高塙政策推進課担当係長）

それでは、議長は農野委員にお願いいたします。

続きまして、副議長については立候補、推薦いかがでしょうか。

農野委員。

○農野委員

ありがとうございます。僭越ながらですが、副議長は地域のことをよくご存じの地域団体の方にお願いしていたという経緯がございます。

現在、長原東地域の活動協議会の会長をしておられます鈴木光一委員に副議長をお願いしてはどうかと思いますが、皆様方いかがでしょうか。

○司会（高塙政策推進課担当係長）

鈴木委員の推薦について、よろしければ拍手をお願いいたします。

（拍手）

○司会（高塙政策推進課担当係長）

それでは、副議長は鈴木委員にお願いいたします。

それでは、農野委員、鈴木委員は議長、副議長席に移っていただきますようお願いいたします。

それでは、議長、副議長より一言ずつご挨拶をお願いいたします。

○農野議長

ありがとうございます。

前回に引き続き議長をさせていただきます学校法人常磐会学園の農野と申します。

よろしくお願ひします。

平素は平野区の皆様方におかれましては、本学の学生等、本当にお世話になっておりましてありがとうございます。非力ではございますが、平野区さんの今後ともよりよいまちづくりのために尽力してまいりたいと思いますので、ぜひ皆様方もいっぱいいろんなご意見をいただきますようによろしくお願ひいたします。

ありがとうございます。

○鈴木副議長

ありがとうございます。長原東地域活動協議会の鈴木と申します。

前回、こども教育のほうでやらせていただいたのですが、今回は防災のほうということで、また農野議長のサポートということで副議長になりました。

平野区の今を皆さんと語り、将来を考えていきたいと思いますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

(拍手)

○司会（高塩政策推進課担当係長）

ありがとうございます。

ここからは農野議長に議事進行をお願いいたします。

最初に、会議の成立及び会議の公開についてご確認をお願いいたします。現在の出席委員数は22名です。

○農野議長

平野区の区政会議は、委員定数の過半数の出席をもって会議が有効となるところでございます。本日は委員31名中、22名のご参加をいただいておりますので、本会議は有効であることをまずご報告申しあげます。

また、この会議は録音、録画され、後日、会議の様子や会議録がホームページ等で公開されます。

また、限られたお時間の中、多数の委員の皆様にご出席いただいております。会議の円滑な進行にご協力くださいますよう、よろしくお願ひ申しあげます。

それでは続きまして、本日の議題となります平野区将来ビジョン2026－2029（案）及び令和8年度平野区運営方針策定に向けてについての説明でございます。こちらについては、区役所事務局さんからご説明をよろしくお願い申しあげます。

○中井政策推進課長

失礼いたします。平野区役所政策推進課の中井でございます。

いつも大変お世話になっており、誠にありがとうございます。失礼いたしますけれども、説明につきましては着座にてさせていただきますので、よろしくお願ひいたします。

それでは私から、まずは平野区将来ビジョン2026－2029（案）についてご説明申しあげます。

資料につきましては、お手元、このような資料、右肩に資料の2と書いてありますオレンジ色の表紙、平野区将来ビジョン2026－2029（案）をご覧いただけますでしょうか。

前回の8月の区政会議におきまして、この将来ビジョンの素案をお示しさせていただき、委員の皆様からいろいろなご意見を頂戴いたしました。

それらのご意見につきまして、区役所で丁寧に検討のほうさせていただくとともに、記載の内容について改めて確認をし、見直しをさせていただきました。

本日はお時間の関係もございますので、委員の皆様からいただいたご意見を踏まえ、素案の内容から変更した箇所などを中心にご説明させていただきたいと存じます。なお、変更した箇所につきましては、赤い字で記載させていただいております。

それでは早速でございますけれども、資料2ページ、ご覧いただけますでしょうか。ページ番号は資料の下のところに記載させていただいております。

2ページ下段のところに、赤字で数字等々記載させていただいております。前回のときにはまだお示しのほうさせていただけなかった箇所でございます。10月1日現在の平野区のデータを新たに記載させていただいております。

それでは続きまして、資料6ページ、ご覧いただけますでしょうか。
表の一番下のところ、赤い字で記載させていただいております。施策の9番として「地域の教育機関との連携の推進」を追加させていただいております。具体的な内容につきましては、後ほどご説明させていただきます。

続きまして、資料7ページをご覧ください。

地域防災力の向上の項目でございますけれども、現状というところの一つ目の点のところ、3行目、4行目の赤字のところをご覧ください。前回の素案におきましては、南海トラフにおける巨大地震について、「今後30年以内に発生する確率が80%程度といわれております」との記載をさせていただいておりましたが、今回は「いつ起きてもおかしくない状況といわれています」というふうに表現に変更させていただけます。

続きまして、資料、その右8ページをご覧ください。

真ん中にあります評価指標の欄をご覧ください。前回の素案におきましては、指標のところが「防災情報や防災訓練などの取組を通じて、防災意識が高まったと感じている割合」、これを指標とさせていただき、目標値については、令和11年度末までに防災訓練やイベントでのアンケート調査で85%以上とさせていただいておりましたが、今回はこちらに赤字で記載のとおり、まず指標としましては、「各地域の防災訓練や研修会等への参加者数」、目標値につきましては、令和11年度末までに参加者数延べ18,400人以上と変更させていただきました。

続きまして、資料10ページをご覧ください。

同じく、ここも評価指標を変更させていただいております。前回の素案では、「防犯パトロールや特殊詐欺被害防止啓発等の取組が、防犯に効果があると思う区民の割合」を指標とさせていただき、目標値については、令和11年度末までに区内の各種イベントなどでのアンケート調査で80%以上としておりましたが、今回は「特殊詐欺被害防止啓発並びに防犯啓発キャンペーン等の参加者数」について、令和11年度末までに参加者数延べ7,900人以上をめざすというふうに修正をさせていただきました。

続きまして、少し飛びますが16ページをご覧ください。

こちらも同じく評価指標の欄でございます。指標につきましては変更はございませんが、その右の目標値でございます。前回は目標値を令和11年度末までに、「保健

福祉課で行うアンケート調査で 75 %以上」としておりましたが、今回は「地域福祉活動コーディネーターなど地域福祉の推進役としての地域住民を対象としたアンケート調査で 75 %以上」と修正させていただきました。

続きまして、18ページをご覧ください。

こちらも同じく評価指標につきまして、指標につきましてはそのままでございますけれども、目標値につきまして前回は、「いきいき百歳体操に参加した人へのアンケート調査で 35 %以上」としておりましたが、今回は、「乳幼児健康診査などで行うアンケート調査で 35 %以上」に修正させていただいております。

次に 22 ページをご覧ください。

上段にあります対応策の欄をご覧ください。その欄の一つ目にございます学習意欲の向上等の欄をご覧ください。こちらにつきましては「読書ノートを活用し、読書習慣や基本的な生活習慣の定着にもつなげ、また一つのことに取り組む力の向上に努めるとともに」という表現を追加させていただきました。

なお、この追加した表現につきましては、過日、平野区役所で開催させていただきました教育会議というものがございまして、その会議の場におきまして委員の方々から、読書ノートの効果についていただいたご意見を基に、今回の変更をさせていただいたものでございます。

次に、資料 23 ページ、24 ページをご覧ください。

こちらにつきましては、先ほど 6 ページのところで施策の 9 番を追加した、それの具体的な内容となってございます。追加でございますので全ての内容が前回にはなかつた内容でございます。

若干ポイントを説明させていただきますと、まず、こどもが元気で育つまちということで、地域の教育機関との連携の推進でございます。

まず、23 ページ上段の現状のところをご覧ください。要点としましては、区内の市立小・中学校とは教育行政連絡会などを通じて連絡調整や意見交換を行い、区内の

市立幼稚園や府立高校とは意見交換会を実施し、連携を図っております。

また、二つ目、三つ目の点にありますとおり、学校法人常磐会学園様及び天王寺学館高等学校様とは、協働に関する協定を締結させていただいておりまして、まちづくりをはじめとした幅広い分野で連携した取組を実施させていただいております。

その下、写真の下の課題の欄をご覧ください。これまでの各教育機関との連携を生かしながら、区政や地域活動において高校生や大学生等の若者の力を共にすることで、若者自身が社会参加の経験を積み成長していくことや、地域においても地域力の向上につなげていくことが大切であるとさせていただきました。

次に24ページをご覧ください。

上段にあります対応策の欄でございますが、市立小・中学校との教育行政連絡会等により市立学校園などとの連携を進めるとともに、区内の教育機関と連携し、区役所の事業や地域のイベントなどにおいて、高校生や大学生などの若者の参加の機会を確保するなど、若者との協働の推進、これら2つを挙げさせていただきました。

なお、評価指標につきましては、区役所との連携があると回答した市立小・中学校の数を令和11年度末までに、小学校全22校、中学校全11校とすることをめざしてまいります。

以上が素案からの変更点の主なものでございます。

次に、資料には記載はございませんが、この将来ビジョンの策定のスケジュールについて、参考までにご説明申しあげます。

今回お示しさせていただいた案につきまして、今週の12月5日から、パブリックコメントを実施させていただきます。来年4月にこのビジョンを策定するスケジュールを予定しております。

なお、パブリックコメントでいただいたご意見などにつきましては、この区政会議の次回、2月の区政会議にてお示しさせていただくとともに、3月中にホームページにも掲載させていただく予定でございます。

次に、資料の3、右肩に【資料3】と書いてあります1枚ものの横長の資料をご覧いただけますでしょうか。こちらは将来ビジョンの概要版となってございますので、併せてご確認のほど、よろしくお願ひいたします。

それでは次に、資料の7をご覧ください。こちらも1枚もので横長の資料です。平野区将来ビジョン2026－2029の表紙デザイン案についての資料をご覧ください。

こちらでございますけれども、天王寺学館高等学校の美術コースの生徒さんに新たな将来ビジョンの顔となる表紙のデザイン案を作成していただきました。

前回の区政会議におきまして、若い世代の意見を聞く機会の創出についてのご意見もいただいたおりまして、このたび新たな取組としまして、天王寺学館高等学校美術コースの授業課題として取り組んでいただきました。

【資料4】として事前に送付させていただいたところにも、この表紙のイラスト案、載せさせていただきましたが、資料の8をご覧いただけますでしょうか。A3で折り込みが入っている資料でございます。事前にお配りした資料4から、その後、追加のイラスト案もございまして、この資料の8にありますとおり、全部で41のたくさんのですべきな案をいただいております。

この後、小グループに分かれての意見交換を行わせていただきますが、その意見交換の始まる前までに、おそれ入りますが皆様方におかれましては、この平野区将来ビジョンを象徴すると思われるデザイン案の候補、3つを選んでいただき、この【資料8】の上のところに候補番号、3つ書く欄がございますので、そちらに番号を記載していただけますよう、よろしくお願ひいたします。

記載が終わりましたら、机の上にそのままこの資料の8は置いたままにしていただきますよう、よろしくお願ひいたします。後ほど事務局にて回収、集約をさせていただきます。

平野区将来ビジョンの内容と併せまして、この表紙デザイン案につきましても、委

員の皆様とともによりよい将来ビジョンを策定してまいりたいと存じておりますので、よろしくお願い申しあげます。

将来ビジョンの説明につきましては以上でございます。

続きまして、資料の 5、ホッチキス留めになっておりますオレンジの表紙で、令和 8 年度平野区運営方針の策定に向けてという資料をご覧いただけますでしょうか。

右上にページ番号をつけさせていただいております。まずは 3 ページをご覧ください。先ほど説明させていただきました将来ビジョンと運営方針の関係について簡単に記載させていただいております。

将来ビジョンにおける将来像の実現に向けた 3 つの施策、これらの方向性を、運営方針ではそれぞれ経営課題と位置づけております。3 つの経営課題に対して、課題認識、主な戦略、そして具体的な取組を踏まえた評価指標を毎年度設定し、進捗を管理しているものでございます。したがいまして、令和 8 年度の平野区運営方針の内容につきましては、将来ビジョンと重なる部分が多くなってございます。

少し中身のほう、説明させていただきますと、次に 4 ページをご覧ください。

運営方針におきましては目標、使命及び所属運営の基本的な考え方というものをお示しするとなっておりまして、令和 8 年度のまず目標につきましては記載のとおり、「笑顔あふれる、つながりと活気のまち」の実現、使命につきましては記載のとおり、所属運営の基本的な考え方につきましても、記載のとおりビジョンにおける 3 つの柱に基づいた考え方を記載させていただいております。

続きまして、5 ページ以降をご覧ください。

まず 5 ページにおきましては、ビジョンにおける柱の 1 に当たります、安全安心のまち、これを経営課題 1 として位置づけさせていただいております。

記載している内容としましては、まず項目としましては課題認識、それから下のほうの段にあります主な戦略、これが続きまして次の 6 ページをご覧ください。

6 ページの上段に評価指標がございます。これらに記載している内容につきまして

は、先ほどの説明させていただいた将来ビジョンに沿ったものとなってございます。

また、6ページ下段のところに、令和7年度の具体的な取組を記載させていただいております。

次の7ページをご覧いただけますでしょうか。

こちらにはこれまでの区政会議で皆様からいただいた主なご意見を、たくさんのご意見を頂戴している中、誠に恐縮ではございますが、その中から抜粋してご意見を記載させていただいております。

次の8ページ以降につきましては、経営課題の2、これが8ページから10ページまで、構成としてはもう同じような形で記載をさせていただいております。

その後、資料進んでいただきまして、11ページから13ページまでが経営課題の3の内容を記載させていただいております。

最後になります、14ページ以降につきましては、参考としまして用語集を記載させていただいております。

長くなりましたが、以上で私からの説明を終わらせていただきます。

また、この後、資料の番号はございませんが、安全安心まちづくり課より、防災フェスタにかかる資料を入れさせていただいております。説明につきましては立本課長よりさせていただきます。

○立本安全安心まちづくり課長

皆様、こんばんは。安全安心まちづくり課の立本です。

本日、お配りしておりますクリーム色の防災フェスタの紹介をさせていただきます。将来ビジョンの中の施策の1つでもあります地域防災力の向上の取組でございます。本日ちょっとチラシの仕上がりが間に合うかどうか微妙なところでしたので、資料番号がないことをご容赦ください。

防災フェスタといたしまして、1月17日土曜日12時から16時、こちら区民セ

ンターで開催予定です。コロナ禍を挟んでおよそ7年ぶりの開催となります。

主には防災講演会ということで、関西テレビでご活躍しておられるお天気キャスターの片平さんを講師と招いて、このチラシの右上にも載っています平野消防署が持つておられるはしご車を展示したいと思っております。

それから、当日は防災リーダーさんに参加いただきまして、水消火器、煙中体験の指導もしていただく予定です。

それから、防災に関する啓発としまして、裏面にございますが、たくさんの参加団体、消防署さん、警察署さん、自衛隊さん、普段あまりお越しいただけないような団体さんも来ていただきます。

それから、右側にありますイベントに参加していただいた方、先着にはなりますけれども、防災ボトルも配布したいと思っております。

現在、順次配布中の「広報ひらの」12月号にも載せておりまして、また1月号でもご案内します。地域の回覧にも回させていただきますので、ぜひとも皆様方、区政会議委員の皆様方からも啓発として宣伝をしていただければと思います。

どうぞよろしくお願いします。

○農野議長

ありがとうございました。

ただいま、事務局さんから将来ビジョンの案及び令和8年度の平野区運営方針の策定に向けてご説明をいただきました。

先ほど、この会議の流れをご説明いただきましたけれども、これから各グループに分かれていただいて、ご議論、ご意見をいただこうと思うのですが、まず平野区の将来ビジョン2026－2029の案について、これは12月5日からパブコメが入るということでございますので、ぜひ各グループの皆様方に、テーマ別に様々な角度から区民目線で共感しやすく分かりやすい表現になっているか、パブコメにかけたとき

に分かりやすい表現になっているかとか、そういう観点からぜひご意見をいただけたらありがたいと思っております。

また、ビジョンの概要版なんかも参考にしていただいて、併せてビジョンに関するご意見をいただけたらと思います。

また、令和8年度、立ち上がりの年度になりますが、平野区の運営方針の策定に向けてという資料もご説明いただきましたので、運営方針についてのご意見等もまたいただけたらと思います。

それでは、各グループに分かれることになりますので、ご協力のほどよろしくお願ひします。

事務局さんからご説明お願いします。

○司会（高塩政策推進課担当係長）

では、これから皆様には席を移動していただき、グループごとに議論をしていただきます。

また、先ほど中井から説明させていただきました【資料4】、【資料7】、【資料8】にかかる将来ビジョン表紙デザイン案について、候補3つを記載していただき、【資料8】を机の上に置いてからのご移動をお願いいたします。

なお、後半の全体会では、各グループで話し合われた内容を、委員の代表の方から報告していただきたいと考えておりますので、よろしくお願いいいたします。

意見交換の場所ですが、安全安心まちづくりグループは2階会議室、地域福祉グループは現在お座りいただいているこの会場の前方舞台側の机周辺、こども教育グループは会場入口左手付近に設置している机となっております。

各グループに見学席をご用意しておりますので、市会議員の皆様、傍聴者の皆様もよければご見学いただければと存じます。

なお、移動する際、お荷物など貴重品は各自で管理をお願いいたします。全体会の

再開は20時35分からを予定しております。

それでは移動をよろしくお願ひいたします。

(小グループ意見交換会のため一時中断)

(再開)

○農野議長

それでは、ただいまより全体会を再開したいと思いますので、委員の皆様方、元の席にお戻りくださいますようにお願いいたします。

よろしいでしょうか。お戻りでしょうか。

本日の前半に、平野区将来ビジョン2026－2029（案）について及び令和8年度の平野区運営方針の策定に向けて、区役所さんからご説明をいただきました。

それを基に各グループでご議論をいただいたわけですが、その内容について各グループの代表の委員の方々から順にご報告をお願いしたいのですが、そうですね、できましたら各グループ3分ぐらいでご説明いただけすると、ご報告いただけたとありがたいのですが、順番としましては、安全安心のまち、そして、みんなで支え合う福祉と健康のまち、こどもが元気で育つまちという順番でご報告いただけたらと思いますので、よろしくお願ひいたします。

よろしいでしょうか。それでは安全安心のまちから、ご報告をお願いしたいと思います。よろしくお願ひいたします。

○徐委員

失礼いたします。安心安全まちづくりグループからの発表とさせていただきます。地活の徐と申します。

いろいろ活発なご意見が出ておりまして、主だったものを報告させていただきます。

まず、昨今、町会加入者が減っているということで、メリット、デメリットをよく聞かれると。防災にも直結する切実な案件であるので、区役所のほうでは「広報ひらの」やイオンタウンでのイベントで啓発していただいているということです。

それと、平野の未利用地で子どもや高齢者が自由に利用できる施設を造っていただきたい。休日に利用できる病院もあればなおよいなという意見が出ております。

それから防災関係で、市営住宅の多い地域では、建物は大丈夫なので在宅避難を主に考えているので、情報難民にならないように区役所からの情報を必ず流していただきたいということです。

防災訓練で安否確認を使っている地域もありますて、あと障がいが分かるようなタオルが出ているということで、目の不自由な方、耳の不自由な方がすぐ分かる、そういうタオルもあるので、そういうのを持ってきていただけだと、避難所でも対応が早くできるんじゃないかという意見がございました。

あと、一番は町会加入者が減っていることで、若い人の加入が難しいということで、地域の役員が高齢の人が多いので、年数が経てば動ける人が減っているので、加入する必要性を本当に今一番伝えるのが難しいということで、これから防災を考える上で、加入者を増やすことを考えていくらいなということです。

以上です。失礼します。

○農野議長

ありがとうございます。

加美地域の地活協の徐委員さん、ありがとうございます。

それでは、みんなで支え合う福祉と健康のまちから、ご報告をお願いいたします。

○東委員

ご報告させていただきます。

今回は新しいメンバーの方がたくさんおられたので、自己紹介をしていただきました。様々なご経験のある方が集まっておられて、今後しっかりといろいろなご意見をお聞きしながら、皆で学んでいきたいと思います。

私の地域のほうなんですけれども、市営住宅の取壊しが決まっておりまして、日にはまだ決まっておりませんので、高齢者の方々はもう引っ越しの不安と、どうなるんやという不安がたくさんあって、見守り活動をしている中でも、もうそのお話しか出てこないという状況なんですけれども、毎月の活動の中でお元気なお話をしていたりながら、活動しております。

町会老人クラブの加入者がだんだんと減ってきてているということをお話の中でありまして、若い人材の担い手が本当に減ってきてるので、今後の深刻なことになっておりますというご意見もありました。

あと認知症が進んでおられる方があった場合、どこにつなげていったらしいかということも、これから私たちは知っていかないといけないということで、地域福祉活動コーディネーターさんの存在が本当に大事になってくるんですけども、地域福祉活動コーディネーターさんがおられない地域が何か所かあるということとして、なかなか探してはいただいておりますけれども、社協さんからなんですけれども、なかなか次を、退職された後の継がれる方がおられないというのが実情でありますということで、私の地域も3月で退職されて、その後、決まらないまま本当にいろんなこと、小さなことを相談できる窓口がありませんので、直接包括さんに連携を取るようにはしているのですけれども、不安しかありませんということでご報告いたしました。

将来ビジョンについての中身については、今回本当にたくさんの内容になっておりまして、特にこうだという意見としては出なかったんですけども、先ほどの地域福祉活動コーディネーターさんについてのお話がありましたので、どういう状況で、区役所からのご依頼で社協さんから来ていただいているということと、また包括さんとのつながり、地域で困った方を、こういう方がおられますということで地域福祉活動

コーディネーターさんにお話をつないだり、そこから役所のほうに行くということ、この流れも何となくしかちょっと私も分かっておりませんでしたので、しっかりと今日お話を聞くことができました。

今後、次、2月にありますけれども、それまでにまたご意見がありましたら発表していきたいということで終わりたいと思います。

以上です。

○農野議長

ありがとうございました。

それでは、こどもが元気で育つまちからご報告をお願いいたします。

○石本委員

石本です。こども教育グループでは、主に2つのテーマに沿って話合いがされました。

一つ目は今回追加された将来ビジョンの、地域の教育機関との連携の推進について、もう一つが、こどもたちの登下校時の見守り活動についての話です。

将来ビジョンのほうでは、基礎自治体でこどもに関する計画をつくるときに、こどもたちを当事者としてもっと巻き込んではいいのではないかという、それが大切なではないかという話がありました。

青少年指導員のお話で、高校生とか18歳ぐらいの若い子たちを活動にもっと、活動しやすくしたいなと思っておられるそうなんですが、平野区では今、若い子たちのユースリーダーというポジションの方は誰もいないそうです。やっぱり若手の子たちをもっと巻き込んではいいのではないかという話でした。

あと、地域でこども対象のイベントとかするときに、やっぱり従事者が高齢の方の場合が多いので、平野区にある大学生とか高校生とかにボランティアをお願いしたら

もっとうまくいくのではないかと思うけれども、そういうパイプがないので、声かけができる場所があればありがたいなという話も出ました。

あと、地域の方がいろいろやってくださっていることに対して、こどもたちがあまり分かっていない、もっと感謝の気持ちを持ってイベントとかに参加してもらえたらいいなという声も出ました。

あと見守り隊、登下校時の見守り活動について、立ってくれている人がどこの誰なのかを分かっていない子ども、保護者が多いのではないかということと、この人が見守り隊ということは分かっているけど、この人は一体どこの誰なんだろうと思いながらやっているのがあるなというのと、実際 P T A の役員とかになってから初めて、あ、こういうふうなことをやっていたんだと気づくことが多いので、保護者の人にももうちょっと宣伝していかないと駄目だなという声がありました。

あと、私の地域なんですけれど、ながら見守りの取組をやろうとしています。決まった時間に決まった人が立つんじゃなくて、犬の散歩とか買物とか、ちょっと時間を合わせて地域全体でこどもたちを見守ろうという取組を始めるに当たって、見守りのキー ホルダーを作つて、今からやってみようかなと思っています。

あと、元校長先生方がそうやって見守り活動に参加しようというふうに動いてくださっているところもあるみたいです。

あとは、やっぱり見守り隊の人を周知するために、学校行事、例えば入学式とかでこんな方たちにお世話をしていますよというのを、お知らせしようかなと考えておられる方もいらっしゃいました。

以上です。

○農野議長

ありがとうございます。

それぞれのグループで、非常に活発なご意見を交換していただけたかと思います。

特にいろんなところで、地域福祉計画であるとか、行政の計画なんかに出させていただくと、どこでも人材が足りないとか、情報が行き届いていないとか、そういうお話が出てくるわけなんですけれども、この会議の冒頭で区長様がご挨拶された中で、続けるのではなくて積み上げるとおっしゃったことについて、私ものすごい意味があるなというふうに思っています。続けていくというのをイメージすると、人材がいないとか、何かちょっと不安な気持ちになるんですけども、いや、みんなで積み上げていこうよという、そういうメッセージなんだろうなというふうに思っています。一方で、ハードルが上がったような気もするのですけれども。

人材であれ、情報であれ、必要な資源は何か、それはどこにあるのか、そういったことはこれまで住民の方は役所に期待しておられた。だけど、今そんな時代ではなくて、地域の方々と、そして行政とが一緒に協働しながらそういうものを探していくかないといけないし、またつくりあげていかないといけない、そういう時代になっていると思います。

非常に今日いろんなご意見いただけて、いい会になったのではないかと、そういうように思います。

それではここで、区役所さんから将来ビジョンの表紙デザイン案について、集計していただいているかと思いますので、そちらの結果をご報告していただけたらと思いますが、よろしいでしょうか。

○中井政策推進課長

区役所政策推進課、中井でございます。

皆様からのご意見を集約させていただきました。恐れ入りますがもう一度資料の8、A3のこの折り込みに入った分ですね。こちらをご覧いただけますでしょうか。

全部で41のデザイン案の中から皆さん方に選んでいただいた、一番多い番号を発表させていただきます。一番多かったのが2番のデザイン案でございました。左上の

ところに、左から二つ目の上の段にございます。こちらの2番のデザインを平野区将来ビジョンの表紙とさせていただきたいと存じます。

高校生の皆さんのがい発想、デザインの中から皆様と一緒に考え選んでいただいた表紙が、新しい平野区将来ビジョンの顔となりますこと、大変うれしく存じます。皆様には本当に選定していただきましてありがとうございました。

またこの場を借りまして、この表紙のデザインをつくっていただきました天王寺学館の生徒の皆さん、教職員の関係者の皆様におかれましても、ここでお礼のほう申しあげさせていただきたいと思います。

私からは以上でございます。ありがとうございました。

○農野議長

ありがとうございます。

そうしましたら皆様方のアンケートの結果、2番目の表紙になるということでございます。これ見せていただいたら、どれもこれも、高校生の方が描いたにしてはすごいなと思って、それが決まるんだろうと思って非常に楽しみにしておりましたが、非常に何か柔らかな表紙になるような、そういう気がいたします。

その他、全体を通じて何か委員の皆様方からご意見等ございますか。

なければ、最後に本日ご出席の市会議員の皆様から何かコメントございますでしょうか。いかがでしょうか。よろしいですか。ありがとうございます。

そうしましたら、会議の進行にご協力くださいましてありがとうございます。まだまだこれから、このパブコメを経て確定されたものを中心に、真ん中に据えて、この会議の中でいろいろとまたご議論いただくことが出てまいると思いますので、今後ともぜひよろしくお願ひしたいと思います。ありがとうございます。

それでは、事務局さんにお返ししようと思いますが、よろしいでしょうか。すみませんけれどもよろしいでしょうか。ありがとうございます。

そうしましたら、円滑な議事進行へのご協力、ありがとうございました。

それでは事務局さんにお返ししますので、よろしくお願ひします。

○司会（高塩政策推進課担当係長）

農野議長、誠にありがとうございました。

【資料9】アンケートにつきましては、記入後、名札とともにそのまま机に置いて帰っていただきますようお願いいたします。

ただし、自由意見欄の記載などで後日改めての提出を希望される方は、別途用紙と返信用封筒をお渡しさせていただきますので、事務局職員にお声がけください。

区役所からの説明は以上でございます。

それでは閉会に当たりまして、区長よりご挨拶申しあげます。

○東中区長

皆様、改めまして本当にありがとうございました。

それぞれのグループでお話を聞きしておりました。切実なお話もございました。

私も今、平野に住ませていただいておりますが、妻と子どものいる家は阿倍野にございます。私も阿倍野の家では班長させていただいている。といっても今は土曜、日曜に戻っておりますけれど。全く同じ気持ちであります、先ほど議長からご紹介ございましたように、続ける、続けていってそれが積み重ねになるというところで、伝わるところには必ず伝わると、私はそのように思って地元でも班長をいたしております。そしてこちらでは区政をお預かりしている立場で、皆様と一緒に続けるということを積み重ねていくということをさせていただければ、本当にありがたく存じます。

あと、この2番の表紙に、皆様の投票多数で決まりました。決めさせていただきました。本当にありがとうございました。

この2番に投票をなさったわけではなかった方におかれましては、大変申し訳ないのですけれども、多数ということでご了承賜りたく存じます。

この2番の表紙、ちょっとイメージを私なりに今、読み解いてみました。何となく都会のイメージがございます。一方、上方に緑、水と緑と空ですね。平野は空がきれいです。本当にきれいです。淀屋橋とか中之島から見る青空と、平野で見る青空は全く色が違ってございます。

しかし、一方で発展していく未来もございます。つまり自然と歴史があって、それが上空にいつもあり、そこでどんどん新しい時代にも皆さんと一緒に向かっていく、そのように2番を読み解くことができるのではないかというふうに感じました。

2番を選ばれた方は、何となくそういうイメージを、つまり平野の持つ力の二面性をお感じになったのではないかなと、今ちょっと読み解かせていただきました。

必ずしも2番を選んだわけではなかった方におかれましても、平野の自然と歴史、伝統、そして未来というところの両面性を、どうかお含みおきをいただけますと大変ありがとうございますとともに、これは私ども行政が今後しっかりと心していくかないといけないところだなど、この表紙案を見て、今ひしひしと感じているところでござります。

必ずしも100点のお返しにはならないかもしれませんけれども、しっかりと一つ一つ改良、改善を、私ども加えていきたいと思いますので、何とぞ皆様方のご理解とお力添えを賜りますように、どうかよろしくお願いを申しあげます。

議長、副議長もありがとうございました。またオブザーバーの先生方におかれましても大変ありがとうございました。

今後、またいろいろなところで、お考え、ご意見をお聞かせ賜りますと大変ありがとうございます。本日は本当にありがとうございました。

○司会（高塩政策推進課担当係長）

それでは、これで平野区政会議 12月全体会を終了いたします。

ありがとうございました。

—了—